

平成二十九年十一月の作品（十一月一〇（金））（第五六回）

（文京シビックセンター5階D会議室）

流鏑馬やぶさめの的裂く音や天高し（一江）

色変へぬ松や眼下に相模灘（隆治）

蒼天に風ありすすきすすき揺れ（奉男）

文化の日叙勲名簿に友ゐたり（正佳）

秋晴れの塩田平や寺社巡る（孝昭）

不意を衝く鶴のひとこゑ朝うみの湖（前歩）

長き夜や「信濃の国」を合唱す（貴美）

秋篠の天女の笑みや小春蝶（芙紗）

朝寒の窓に水滴しづ四万の宿（正雄）

秋霖しゅうりんに旅立つ人の姿かな（平六）

狭霧さぎり込め流れ止まれる小名木川（清助）